

組 織 ， 情 報 そ の 他

組織，情報その他

(1) 沿革

昭和22年林政統一による機構改革に伴い，林業試験研究機関を整備することになり，同年4月大阪管林局内の試験調査部門を編成替のうへ農林省林業試験場大阪支場として局内に併置された。

関西支場

- 昭和25. 4 京都市東山区七条大和大路に大阪支場京都分室設置さる
 昭和27. 7 京都分室を廃止し，そのあとに支場を移転し京都支場と名称を改む
 昭和28. 2 新たに伏見区桃山町に支場庁舎敷地として国有林の所属替をうけ，同時に桃山研
 究室を設置
 昭和31. 3 庁舎・研究室を新築・移転
 昭和34. 7 関西支場と名称を改む
 昭和40. 3 研究室等を増改築
 昭和41. 4 部制設置（育林，保護の2部）
 “ 防災研究室を岡山試験地から移設
 昭和51.11 庁舎・研究室（昭和31.3新築のもの）を改築
 昭和57.12 鳥獣実験室を新築
 昭和59.12 治山実験室を新築

岡山試験地

- 昭和10. 8 岡山県上道郡高島村に水源涵養試験地として設置
 昭和12.12 林業試験場高島試験地と名称を改む
 昭和22. 4 林業試験場大阪支場の所管となり，同支場高島分場と名称を改む
 昭和27. 7 林業試験場京都支場高島分場と名称を改む
 昭和34. 7 林業試験場関西支場岡山分場と名称を改む
 昭和41. 4 林業試験場岡山試験地と名称を改む

(2) 土地および施設

1. 土地

	関西支場	岡山試験地
庁舎敷地	60,669	12,254 m ²
庁内		(67,897 m ²)
庁舎敷地	11,450	(1,999)
苗木樹木	13,270	4,264
見本林，実験地	7,951	7,990
宿舎敷地	27,998	(65,898)
津島	9,373	915
治見	7,045	—
計	3,812	—
	80,899 m ²	13,169 m ²
		(67,897 m ²) 一借地

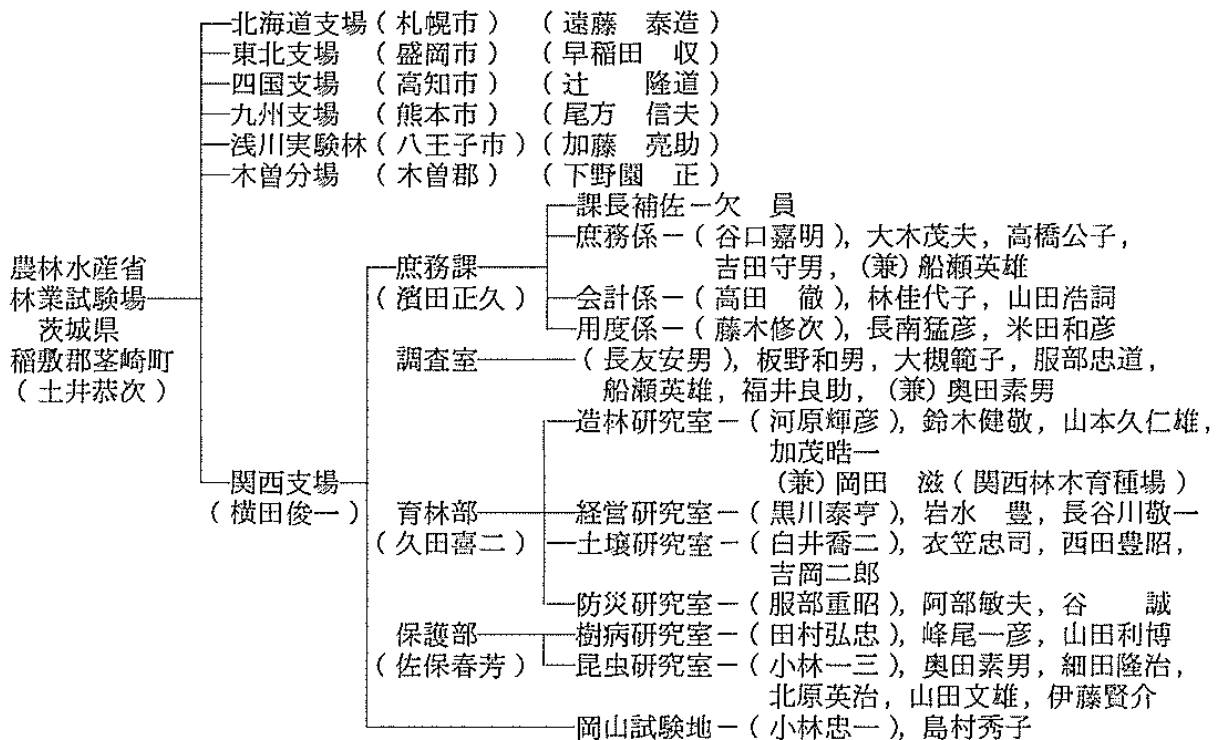
2. 施設（延べ面積）

	5棟	2,630	1棟	347 m ²
庁内				
研究室（本館棟）		1,507		
“（別棟）		628		
会議室		166		
機械料		140		
温室		189		
ラニ	2棟	139		—
菌低	1 “	61		—
病虫	1 “	51		—
鳥獣	1 “	48		—
山	1 “	91		—
木	1 “	105		—
林	1 “	139		—
材	1 “	157		—
線	1 “	26		—
研究	1 “	41		—
工	1 “	64		—
人	1 “	19		—
連	1 “	223		—
宿	10 “	376	7棟	267
計	13 “	1,446	2 “	195
	42棟	5,616 m ²	10棟	809 m ²

(3) 組

織

(昭和60年 3月30日現在)



(4) 人のうごき

注:()はそれぞれの長

59. 4. 1 付		
本場総務部人事課人事第一係長へ	庶務課	妹尾博文
〃 防災部理水第一研究室長へ	防災研究室	岸岡孝
庶務課会計係に	庶務課	高田徹
〃 用度係に	本場	長南猛彦
保護部樹病研究室長に	〃	田村弘忠
育林部防災研究室長心得に	〃	服部重昭
59. 7. 16 付		
北海道支場長へ	支場長	遠藤泰造
支場長に	九州支場	横田俊一
59. 7. 20 付		
退職	庶務課	福貴萬治
59. 10. 1 付		
本場保護部鳥獣第一研究室長へ	昆虫研究室	桑畑勤
保護部昆虫研究室に	本場	北原英治
60. 1. 1 付		
庶務課会計係長に	庶務課	高田徹
60. 1. 18 付		
退職	造林研究室	市川孝義
60. 3. 31 付		
退職	育林部長	久田喜二
〃	調査室	服部忠道
〃	岡山試験地	島村秀子

組織，情報その他

(5) 会議の開催

1. 昭和59年度（第12回）林業技術開発推進近畿・中国ブロック協議会

この会議は、林業技術開発推進協議会運営要領（昭和48年6月8日付け，48林野第108号，林野庁長官通達）に基づき毎年度開催されるもので，中央協議会・ブロック協議会・都道府県協議会からなっている。当支場は，近畿・中国ブロック協議会に属し，長官招集によって開催されるブロック協議会を総括する。

近畿・中国ブロック協議会の59年度協議概要は次の通りである。

会議は59年10月23日，当支場大会議室に於て開催し，出席者は2府12県の林務部局行政担当者，および，林業試験研究指導機関の職員，大阪営林局から技術開発室長・企画官，関西材木育種場長，同山陰支場長，ならびに学識経験者として京大農学部赤井助教授であった。なお，林野庁からは研究普及課，技術開発担当北川課長補佐，林業試験場（本場）から蜂屋調査部長，支場からは，支場長以下全研究員と事務局として調査室係官が出席して行われた。

会議は，まず林野庁，林業試験場のあいさつの後，支場長を議長に選出，前年度提案の25課題について，その処理経過が林野庁より報告された。次いで59年度府県提案の開発課題が討議された。経営部門；広葉樹資源の分布と流通に関する研究など3課題，造林部門；針葉樹複層林施業技術の確立・林木の組織培養に関する研究・苗畑除草剤の連用とヒノキ苗の生育障害の解明など10課題，保護部門；獣害の防除に関する研究・スギの溝腐病の防除に関する研究など3課題，特産部門；乾シイタケの品質保持についての調査研究，防災部門；ランドサットデータ利用による災害危険地解析手法の開発・山火事被災跡地の植生遷移に関する研究，林業機械部門；急傾斜地における刈払作業機の自動化，の6部門20課題について討議された。

この結果，国庫補助の予定課題が「針葉樹複層林施業技術の確立」，今後検討のう えでとしたものが「多湿雪地帯におけるヒノキの育林技術の体系化」など6課題，国立林試指導，県単対応が「広葉樹資源の分布と流通に関する研究」など6課題，その他は情報交換などで研究の進展をみるという事になった。

2. 関西地域研究推進会議

昨年まで開催されていた業務報告会にかわり，関西地域研究推進会議を2月25～26の両日開催した。この推進会議は，60年度を試行期間として本格的に始動する林業試験場研究推進目標に添って，基本研究目標の第4の柱「地域林業の活性化」によって定められた関西地域の研究推進目標を細部にわたって討議したものである。

会議には，本場より難波次長と片桐企画科長の出席を得，初日は新目標移行のために，従来の研究課題（広領域・特定問題は除く）のしめくりとして，C表（課題完了）を用いて59年度までの成果について報告を行い，特に新目標への移行関連について討議を深めた。

第2日目は，大課題責任者が司会し，夫々の小課題責任者によるA表（新規課題）での説明を行い，研究計画ならびに得ようとする成果について討議を行った。なお，当地域研究目標の第2の柱である「畿陽アカマツ林帯におけるヒノキ人工林造成技術」は，60年度から始まる特別研究「松跡ヒノキ」で4年間実施することになっているので，こちらでの設計会議にゆだねられた。

また，当支場の研究推進会議が，専門部，他地域に先がけて開催された関係もあって，部門別

の研究分担が未調整の段階であったので、広領域・特定問題と併せて、分担研究問題は後日に持ち越された。

3. 関西地区林業試験研究機関連絡協議会

関西、四国、両支場の研究対応地域内の2府16県の公立林業試験研究機関の長、および国立林試・関西・四国支場長ならびに関西林木育種場長、同山陰・四国支場長を会員として構成され年1回総会を開催する。

59年度は鳥取市において開催し、各研究部会の活動報告と次年度の計画について論議を行った。また57年度総会で提案があり、2年間の討議経過した部会の統合問題は、各部会が、次年度および次次年度の開催地まで予定している関係もあって、本年度も見送りとなった。しかし、次年度総会に向けて各部会が今一度討議を深めることになった。

(6) 受託研究等調査・指導

用 務	委 託 者	用 務 先	実施月日	出 張 者	
				研 究 室	氏 名
ダム貯水池保全調査	日本林業技術協会	大津市上田上	59. 8. 20 ～ 21	造 林	河原 輝彦
〃	〃	〃	〃	経 営	長谷川敬一
〃	〃	〃	〃	土 壌	白井 喬二
〃	〃	〃	〃	防 災	服部 重昭
〃	〃	〃	〃	〃	阿部 敏夫
山村振興コンサルタント活動調査	全国農業構造改善協会	三重県飯高町	59. 10. 24 ～ 27	経 営	黒川 泰亨
大規模住宅団地の植樹林内の小動物の放飼に関する基礎調査	大阪南港環境整備公社	愛媛県川内町	59. 10. 23 ～ 25	昆 虫	山田 文雄
〃	〃	大阪市南港ポートタウン	59. 11. 14	〃	北原 英治
〃	〃	〃	〃	〃	山田 文雄
しいたけ原木需給安定調査	日本林業技術協会	東 京 都	59. 11. 15 ～ 16	育林部長	久田 喜二
〃	〃	〃	〃	経 営	黒川 泰亨
大規模住宅団地の植樹林内の小動物の放飼に関する基礎調査	大阪南港環境整備公社	愛媛県川内町	60. 1. 28 ～ 2. 1	昆 虫	山田 文雄
しいたけ原木需給安定調査	日本林業技術協会	山 口 市	60. 1. 28 ～ 29	経 営	黒川 泰亨
〃	〃	東 京 都	60. 3. 15	育林部長	久田 喜二
〃	〃	〃	〃	経 営	黒川 泰亨

組 織 ， 情 報 そ の 他

(7) 当 場 職 員 研 修

氏 名	研 修 先	研 修 期 間	研 修 内 容
黒川 泰亨	ECC外語学院	59.7.23～8.11	英語研修
谷 誠	〃	〃 ～ 〃	〃
山田 文雄	パル外語教室	59.8.9～60.1.31	〃
山田 文雄	筑波農林研究団地 共同利用施設	59.10.15～20	昭和59年度電子計算機 プログラミング研修
山田 文雄	林業試験場 保護部 鳥獣科	60.1.21～25	性ホルモンの定性、定量 分析
大槻 範子	筑波農林研究団地 共同利用施設	60.3.12～13	昭和59年度情報活動研修

(8) 技 術 研 修 受 入 れ

氏 名	所 属 機 関	研 修 期 間	研 修 内 容
佐々木 浩	徳島県林業総合技術センター	59.10.1～31	電子計算機利用技術研修
上山 泰代	兵庫県立林業試験場緑化センター	60.2.4～3.5	獣類による森林被害防止 のための基礎的研究手法

(9) 海 外 出 張

氏 名	出 張 先	出 張 期 間	研 究 課 題
佐保 春芳	アメリカ合衆国	59.9.29～10.9	国際研究集会出席
加茂 皓一	フィリピン	60.2.13～4.3	熱帯における早生樹種の生長解析 に関する研究

(10) 見 学 者

		内 訳						計
		国	府 県	大 学		林業団体	一 般	
国	件 数	60	24	7	5	5	19	120
内	人 数	103	95	39	193	53	119	602
国	件 数	韓国(11), 中国(7), タイ(6), パキスタン(5), アメリカ(3), ブラジル(3), フランス(2), パナマ(2), コロンビア(2), インドネシア(2), ブルネイ(1), グレナダ(1), ホンジュ ラス(1), 象牙海岸(1), ケニア(1), ビルマ(1), チリ(1), パプアニューギニア(1), ペルー(1), フィリピン(1), セ ネガル(1)						21
外	人 数							54

(11) 試験地一覧表

試 験 地 名	営林署	担当区	林 小 班		樹 種	面 積	設 年	定 度	終了予 定年度	担 当 研究室
高取山スギ人工林皆伐 用材林作業収獲試験地	奈 良	下 市	56 49	ほ ほ	ス ギ	0.60	昭 10	昭 75	経 営	
高取山ヒノキ人工林 "	"	"	56	ほ	ヒ ノ キ	0.40	" 10	" 72	"	
高野山スギ人工林 "	高 野	高 野	31	ろ	ス ギ	0.17	" 10	" 68	"	
高野山ヒノキ人工林 "	"	"	31 44	ろ に	ヒ ノ キ	1.07	" 10	" 88	"	
滝谷スギ人工林 "	山 崎	西 谷	136	り	ス ギ	2.25	" 11	" 95	"	
御弁当谷ヒノキ人工林 "	亀 山	北 勢	37	に	ヒ ノ キ	0.98	" 12	"	"	
新重山ヒノキ人工林 "	福 山	井 関	49	と	"	1.05	" 12	" 91	"	
遠藤スギその他択材用 材林	津 山	上 齊 原	39	ろ	ス ギ	1.67	" 12	"132	"	
西山アカマツ天然林皆 伐用材林 "	西 条	大 草	1,032	い	ア カ マ ツ	1.02	" 12	" 71	"	
滑山スギ人工林 "	山 口	滑	11	り	ス ギ	1.60	" 13	" 61	"	
滑山ヒノキ人工林 "	"	八 坂	20	ほ	ヒ ノ キ	0.67	" 13	昭 60.1 廃 止	"	
奥島山アカマツ天然林 皆伐用材 "	大 津	八 幡	71 79	と は	ア カ マ ツ	5.18 3.23	" 13	" 92	"	
地獄谷アカマツ天然林 その他択材用材林 "	奈 良	郡 山	17	わ	ア カ マ ツ スギ・ヒノキ	1.73	" 15	"117	"	
篠谷山スギ人工林 "	倉 吉	根 雨	1,015	い	ス ギ	0.80	" 34	" 88	"	
茗荷洲山ヒノキ人工林 "	新 宮	飛 鳥 第 二	41	へ	ヒ ノ キ	0.71	" 35	"125	"	
白見スギ人工林 "	"	新 宮	5	ほ	ス ギ	1.24	" 37	"106	"	
六万山スギ人工林 "	金 沢	白 峰	55	は	"	0.79	" 37	"120	"	
西条保育形成試験地	西 条	志 和	11	へ	ア カ マ ツ	2.15	" 33	" 69	造 林	
福山 "	福 山	上 下	16	へ	"	2.25	" 33	" 69	"	
吉永植栽比較試験地	岡 山	吉 永	1,005	ほ	ス ギ 外 5	1.54	" 41	" 71	"	
スギ山崎短期育成試験	山 崎	薦 沢	25	へ	ス ギ	1.69	" 37	" 69	"	
アカマツ福山 "	福 山	三 和	108	ぬ	ア カ マ ツ	1.75	" 37	" 69	"	
材質育種福山試験地	"	総 領	119	へ	"	3.168	" 42	" 71	"	
馬乗山試験地	"	加 茂	69	ち	スギ・ヒノキ	6.50	" 43	" 70	"	
林地肥培高野試験地	高 野	高 野	4	い	ス ギ	0.16	" 46	" 71	土 壤	
竜の口山量水試験地	岡 山	岡 山	11 ほ・に・は	に・は	ア カ マ ツ 外	44.99	" 10	" 72	防 災	
小関林内更新試験地	大 津	大 津	15	ら	ヒ ノ キ	2.10	" 55	" 65	造 林	
焼尾試験地（ヒノキ）	亀 山	阿 山	72	に	"	0.15	" 59	" 69	土 壤	
青岳試験地（ヒノキ）	"	"	81	ほ	"	0.30	" 59	" 69	"	
複層林施業試験地	大 津	大 津	20	わ	"	0.24	" 59	" 69	造 林	

試験地一覧表・気象年報

(12) 気 象 年 表

関西支場構内および岡山試験地で、主な気象要素について常時観測を実施しているが、昭和59年の観測結果は別表のとおりである。なお観測要領は気象観測法に従い定時9時に観測した。

(服部忠道)

59年 月	気 温 ℃ 120cm							気 温 ℃ 10cm							気温別日数 120cm				
	平 均 9 h	平 均 最 高	平 均 最 低	最 高	起 日	最 低	起 日	平 均 9 h	平 均 最 高	平 均 最 低	最 高	起 日	最 低	起 日	最 高		最 低		
															< 0℃	≥ 25℃	< -10℃	< 0℃	
1	1.0	6.8	-1.0	10.5	2	-3.6	28	0.9	6.2	-1.2	9.8	10	-4.1	28					23
2	1.6	6.6	-1.3	11.9	21	-4.5	7	1.2	6.0	-1.8	11.0	21	-5.2	7					22
3	4.7	10.2	0.2	20.5	30	-4.0	1	4.5	10.0	-0.1	20.9	30	-4.1	1					16
4	13.1	19.0	7.6	26.1	27	0.2	8	12.9	18.4	7.1	26.4	18	0.3	8		3			
5	18.4	24.5	12.2	30.7	30	6.9	4	18.3	24.5	12.3	30.1	30	7.0	4		16			
6	24.0	28.6	19.8	32.3	18	16.5	11	23.8	28.5	20.0	32.3	18	17.0	1,11		28			
7	27.6	31.9	23.5	36.7	31	20.0	11	27.4	31.7	23.8	35.5	31	20.4	11		31			
8	29.1	33.8	23.9	38.4	12	20.1	24	28.6	34.7	24.2	38.2	12	21.0	24,29		31			5
9	22.9	28.6	18.8	35.3	1	11.0	27	22.6	27.5	18.6	35.5	4	11.0	27		26			1
10	16.4	22.1	12.0	31.0	1	4.1	31	14.8	20.5	11.4	29.4	1	3.6	31		4			
11	10.8	17.5	7.2	23.2	9	-0.1	29	10.3	16.0	6.4	22.1	9	-1.3	29					1
12	5.1	11.3	2.3	18.1	5,10	-3.3	31	4.3	10.7	2.6	17.0	5,10	-3.7	31					10
年	14.6	20.1	10.4					14.1	19.6	10.3						139			72 6
極値				38.4	8.12	-4.5	2,7				38.2	8.12	-5.2	2,7					

59年 月	湿 度 %			降 水 量 (mm)					量 別 降 水 日 数					
	平 均 9 h	最 小	起 日	総 量	最 大 日 量	起 日	最 大 1 時間量	起 日	≥1 mm	≥10 mm	≥30 mm	≥50 mm	≥100 mm	≥300 mm
1	77	32	9	39.5	11.0	31			8	1				
2	72	30	22	80.0	27.5	23	5	23	9	2				
3	65	12	25	49.0	17.0	19	4	24	5	2				
4	60	12	24	74.0	33.0	19	8	19	5	4	1			
5	61	14	10	122.0	66.0	1	17	1	7	4	1	1		
6	68	23	2	273.0	68.5	8	25	20	12	7	3	1		
7	69	35	31	183.5	43.5	9	42	9	14	7	2			
8	65	30	24	61.5	30.0	15	15	15	5	2	1			
9	69	28	27	103.5	55.5	9	17	9	8	3	1	1		
10	67	19	15	64.0	24.5	17	14	3	5	2				
11	78	17	4	40.5	28.5	15	8	15	3	1				
12	76	20	8	64.5	25.0	16	7	11	7	2				
年	69			1,155.0					88	35	9	3		
極値		12	3.25, 4.24		68.5	6.8	42	7.9						

2. 岡山 試 験 地

所在地 岡山市祇園954 北緯34°42' 東經133°58' 標高40 m

59年 月	気 温 ℃							温 度 %			平 均 水蒸気 圧(mm) 9h(10h)	平 均 蒸発量 (mm) 9h(10h)
	平均 9h(10h)	平均 最高	平均 最低	最高	起 日	最低	起 日	平均 9h(10h)	最小	起 日		
1	0.1	7.2	96.8	11.9	12	93.2	26	89	66	25	5.8	1.0
2	0.1	6.6	96.5	12.0	23	92.2	8	87	65	19	5.5	1.5
3	3.6	9.8	98.6	18.7	31	93.8	5	79	56	30	6.3	1.9
4	12.2	18.2	5.8	25.5	20	99.0	8	71	41	8	10.2	3.5
5	17.6	23.8	11.0	28.9	10	5.3	2	76	56	3	15.2	4.4
6	22.7	27.3	18.2	33.3	21	13.5	12	85	71	12	23.3	4.0
7	26.4	30.8	22.1	33.4	7	16.5	1	86	73	30	29.4	4.3
8	28.1	33.1	22.9	35.9	14	20.9	23	84	67	27	31.5	5.4
9	22.2	28.0	17.5	34.9	5	9.2	27	86	74	23	23.0	3.3
10	15.0	22.4	9.9	28.0	3	2.5	22	85	49	14	14.7	2.5
11	9.6	17.2	5.8	22.4	7	98.8	29	93	79	20	11.3	1.8
12	14.1	11.5	0.5	18.8	12	94.1	30	87	52	22	7.4	1.2
年	13.5	19.7	8.8	35.9	8.14	92.2	2.8	84	41	4.8	15.3	2.9
累年平均	14.5	19.6	9.3					78			14.5	2.9
過去極値				37.2	21.8.10	90.2	56.2.27		21	41.12.2		

59年 月	降 水 量 (mm)					量 別 降 水 日 数						気 温 別 日 数			
	総 量	最 大 日 量	起 日	最大1 時間量	起 日	≥ 10 mm	≥ 10 mm	≥ 30 mm	≥ 50 mm	≥ 100 mm	≥ 300 mm	最 高 < 0℃	最 高 ≥ 25℃	最 低 < -10℃	最 低 ≥ 25℃
1	22.2	8.8	31			4	—	—	—	—	—	—	—	29	—
2	63.5	18.0	23			7	4	—	—	—	—	—	—	26	—
3	66.6	18.3	20			11	3	—	—	—	—	—	—	20	—
4	57.0	29.6	20			6	2	—	—	—	—	—	—	3	—
5	129.8	54.8	1			7	5	1	1	—	—	14	—	—	—
6	210.2	65.2	27			11	6	2	1	—	—	26	—	—	—
7	106.5	54.9	26			6	3	1	1	—	—	31	—	—	—
8	70.9	40.1	16			5	2	1	—	—	—	31	—	—	3
9	92.2	45.1	5			7	2	1	—	—	—	23	—	—	—
10	51.0	22.5	4			4	2	—	—	—	—	5	—	—	—
11	28.8	9.2	16			4	—	—	—	—	—	—	—	2	—
12	35.0	21.2	17			5	1	—	—	—	—	—	—	15	—
年	933.7	65.2	6.27			77	30	6	3	—	—	130	—	95	3
累年平均	1196.8														
過去極値															

59年 月	現 象 日 数											季 節					
	晴	曇天	降水	暴風	霜	霜柱	霧	雪	吹雪	積雪	結氷	種 別	初 日		終 日		中間日数 本 年
													本 年	極最早	本 年	極最晚	
1	23	6	2 (雪)	—	20	10	—	3	—	2	21	気温最 低<0℃	58	54	59	37	
2	23	3	3 (雪)(雨)	—	15	5	—	6	4	3	25		11.27	11.14	4.9	4.19	135
3	18	7	6 (雪)(雨)	—	13	3	1	6	—	2	17	霜	58	28	59	33	
4	15	12	3	—	—	—	2	—	—	—	—		10.30	10.15	3.29	5.13	151
5	18	9	4	—	—	—	—	—	—	—	—	霜柱	58	54	59	13	
6	12	14	4	—	—	—	4	—	—	—	—		12.21	12.2	3.6	4.10	77
7	17	12	2	—	—	—	1	—	—	—	—	雪	58	1	59	14	
8	24	6	1	—	—	—	—	—	—	—	—		11.27	11.12	3.22	4.2	117
9	16	12	2	—	—	—	—	—	—	—	—	積雪	59	40	59	14	
10	23	7	1	—	—	—	—	—	—	—	—		1.19	12.17	3.19	4.2	61
11	21	7	2	—	7	—	2	—	—	—	4	結氷	58	45	59	33	
12	23	5	3	—	13	2	1	1	—	—	16		11.18	11.12	3.27	4.15	131
年	233	100	33	—	68	20	11	16	4	7	83						
累年平均	183	148	56														

年報編集委員会

前	田	満
長	友	安
服	部	重
北	原	英
		治

昭和60年9月29日印刷
昭和60年10月1日発行

発行所 農林水産省林業試験場関西支場
〒612 京都市伏見区桃山町永井久太郎宮有地
TEL (075) 611-1201

印刷所 ナカバヤシ株式会社
大阪市東区京橋3-62-1
TEL (06) 943-1268